

from 東北

ニュースレター



全国諸教会の皆様、日頃からお支えと励ましをありがとうございます。東日本大震災から6年が過ぎました。震災から6年経った現在も、神様と皆様のお支えのおかげで、私たちの活動を続けることができます。先月は全国教役者研修会が宮城で行われ、震災と教会形成について学び合う場が持たれたことも感謝でした。今号では、東北の諸教会で行われた追悼と祈りの集会の様子や、被災地の様子をお届けします。

## 追悼と黙想の夕べ～忘れじの時 忘れじの人～

仙台の3月11日は、今年もあの日と同じように小雪がちらつく寒い日でした。未曾有の大地震と大津波を経験した日から丸6年経ちました。

私たちが月1回訪問している石巻・鮎川の仮設住宅で、顔見知りの高齢のご婦人が孤独死されたのは、1月のことです。復興住宅への引越しを間近に控えてのあまりにも悲しい出来事でした。被災された人々にとって、この6年の歩みは、どれほど過酷なものだったことでしょうか。

あの日の出来事によって突然に命を奪われた人々を追悼し、現在なお厳しい現実の中で生きておられる方々との共生を改めて決意するために、今年も3月11日に「追悼と黙想の夕べ」(=写真上=)を、仙台教会を会場に開催しました。参加者は一般市民の方を含め70数名。

今回はお二人から証言をお聞きすることができました。お一人は、仙台市で最も津波による被害が甚大だった若林区の当時の消防署長・八巻正之さん。文字通り不眠不休で救助活動の陣頭指揮を執られた方です。現場の映像を交え淡々と語られましたが、どれ程の苦悩を内に秘めてのお働きであった

かは、推して知るべしです。

もうお一人は、石巻でご両親を津波で亡くされた高橋匡美さん。震災の語り部として、ご自身が経験した辛い体験を証言しながら、明日生きていることは「奇跡」であり、それだからこそ今日を精一杯生きることの大切さを、力強く語っていただきました。

また、被災した当時中学生で現在は社会人の齊藤日向子さんの文章(「文芸春秋」掲載)も、同年代の佐藤花音さん(=写真右=)の朗読で紹介しました。会堂に満ちるマリンバの重厚な響きの中、証言や朗読を通し、参加者たちは「忘れじの時 忘れじの人」を、それぞれ胸に刻みました。

(仙台基督教会：小林孝男)



「今生きている奇跡」を朗読する佐藤花音さん

## 3・11 緑ヶ丘仮設住宅でのお茶会

あの日から7年目を迎える2017年3月11日、今年も緑ヶ丘東7丁目仮設住宅でお茶会をさせていただきました。ここは、福島第一原発より5キロから10キロ地点に位置する富岡町から避難してこられた方々がお住まいで、2011年8月時点で200世帯、今は50世帯になりました。富岡町は国道6号線から夜の森公園に通じる道に、樹齢100年のソメイヨシノが並び、見事な桜トンネルがあり、1,500本の桜が咲き誇る町です。

今年の3・11を覚えてのお茶会は、いつものように体操をしました。その後、故郷の桜を思い描きつつ、桜餅と桜茶でティータイム。そして皆さんと桜模様の千代紙でお菓子鉢を折り、桜模様のお菓子を盛り付けました。また、ビンゴ大会も開催。余震が続く中、原発もいつどうなるかわからないため、景品は避難用品。西南学院大学からいただいた西南水やマスク、ホカホカカイロ、缶詰、タオル、緊急事態が続いて口腔ケアができないと歯周病から



命とりの病気を引き出すとのことで、その予防のための歯ブラシ。それらを手提げ袋に一式入れて、メインは転倒防止用品や簡易寝袋等などを一つ選んでいただきました。

富岡町は今年4月1日、帰還困難区域以外の避難指示が解除になります。町の中には震災以降、手付かずの住宅や商店も多くあり、サービスや病院の数は少なく、急病の際は車で2時間も離れた郡山市内まで受診に来なければなりません。避難指示が解除になって町に帰っても本当に生活ができるのか、また、若い世代が町に帰って来ない。来られない状況(放射性物質の影響を心配して。あるいは新たな職に付いているなど)があり、人口減少、町の財政問題があるとのこと。また、町には帰らない決断をして、他の町の借り上げ住宅や復興住宅に入居をする方が多く、人との関係も分断され新たな孤独の生活が始まります。「たず



ねてきてくれな〜」その声には元気がありません。原発事故収束の目処がたらず、健康被害が深刻になってますます先の見えない福島です。課題が月日と共に深くえぐられていくような気がするのです。

(郡山コスモス通り教会：金子千嘉世)

## 震災から6年を数えて・東北の教会や被災地での3・11



追悼・祈り会 南光台教会



追悼と黙想の時



3・11を覚え、互理のいちごハウスにお花とお菓子ををお届けしました 長命ヶ丘教会



仮設を出られた方を訪問



追悼と黙想、分かち合いの時 大富教会



追悼・祈禱会 盛岡教会